

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 6 月 17 日 (2025.6.17)

【国際公開番号】 WO2023/012566
【出願番号】 特願 2023-539212 (P2023-539212)
【国際特許分類】

G 0 9 G 3/3233(2016.01)
G 0 9 G 3/20(2006.01)
G 0 9 G 5/00(2006.01)
G 0 9 G 5/37(2006.01)
G 0 9 F 9/30(2006.01)
H 0 5 B 33/14(2006.01)
H 1 0 K 59/10(2023.01)
H 1 0 K 59/65(2023.01)
H 1 0 K 59/90(2023.01)
H 1 0 K 50/10(2023.01)
G 0 2 B 27/02(2006.01)

10

【 F I 】

G 0 9 G 3/3233
G 0 9 G 3/20 6 8 0 H
G 0 9 G 3/20 6 3 2 F
G 0 9 G 3/20 6 1 1 A
G 0 9 G 3/20 6 1 2 R
G 0 9 G 5/00 5 5 0 C
G 0 9 G 5/37 3 2 0
G 0 9 F 9/30 3 6 5
G 0 9 F 9/30 3 4 9 Z
H 0 5 B 33/14 Z
H 1 0 K 59/10
H 1 0 K 59/65
H 1 0 K 59/90
H 1 0 K 50/10
G 0 2 B 27/02 Z

20

30

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 6 月 9 日 (2025.6.9)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文

40

【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

表示装置と、画像処理部と、制御部と、を有し、
前記表示装置は、発光デバイスと、受光デバイスと、を有し、
前記発光デバイスは、表示画像として、ユーザの眼に対して、光を射出する機能を有し

、
前記受光デバイスは、撮像画像として、前記ユーザの眼の網膜を撮像する機能を有し、
前記画像処理部は、前記撮像画像から、前記網膜に含まれる黄斑を検出する機能と、前

50

記黄斑の位置データを算出する機能と、を有し、

前記制御部は、前記黄斑の位置データから、前記表示画像上の、前記ユーザの視線先の位置を取得して、前記位置に応じて、前記表示画像を更新する機能を有し、

前記画像処理部は、前記撮像画像から、前記撮像画像に含まれる焦点のずれた物体を検出して、前記ユーザの瞬目を検知する機能を有し、

前記ユーザが短く瞬目をした場合と長く瞬目をした場合とでは、前記表示画像の更新内容が異なる、

電子機器。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記画像処理部は、積和演算回路と、活性化関数の演算を行う回路と、を有する、電子機器。

【請求項 3】

表示装置を有し、

前記表示装置は、発光デバイスと、受光デバイスと、画像処理部と、制御部と、を有する、電子機器の動作方法であって、

第 1 ステップと、第 2 ステップと、第 3 ステップと、第 4 ステップと、第 5 ステップと、第 6 ステップと、を有し、

前記第 1 ステップは、表示画像として、前記発光デバイスの光をユーザの眼の網膜に照明するステップを有し、

前記第 2 ステップは、撮像画像として、前記網膜から反射された光を前記受光デバイスで撮像するステップを有し、

前記第 3 ステップは、前記画像処理部が、前記撮像画像から前記網膜に含まれている黄斑の座標を取得するステップを有し、

前記第 4 ステップは、前記制御部が、前記黄斑の座標から、前記表示画像上の、前記ユーザの視線先の位置を取得して、前記位置に応じて、前記表示画像を更新するステップを有し、

前記第 5 ステップは、前記画像処理部が、前記撮像画像に含まれている焦点がずれている領域を検出して、前記ユーザの瞬目を検知するステップを有し、

前記第 6 ステップは、前記第 5 ステップにおいて、前記ユーザの瞬目を検知した場合において、前記表示画像を更新するステップを有し、

前記ユーザが短く瞬目をした場合と長く瞬目をした場合とでは、前記表示画像の更新内容が異なる、

電子機器の動作方法。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記画像処理部は、積和演算回路と、活性化関数の演算を行う回路と、を有する、電子機器の動作方法。

10

20

30

40

50